

校長室だより~湘南の空~

第 26 号

令和5年9月22日

9月18日、4年ぶりに大勢のお客様を迎え、まさに、日本一の体育祭を実現することができた。改めて、体育祭実行委員会、総務長、パートリーダー、体育祭を支えたすべての湘南生や担当の先生方に心より感謝したい。また、体育祭に協力してくださった保護者の皆様、地域の皆様にお礼を申し上げる。

各カラーのリーダー達は思い描いたイメージに向け「さあ、あそこへ行こう」と仲間に示し、個々のエネルギーが融合されるような現象を起こしたのではないか。エンターテインメントとしてはもちろん、確かなメッセージとそれを伝える力があった。仮装では世界に訴える思いを豊かに表現し、バックボードからは未来を変えるエネルギーが溢れ、競技への一生懸命さは紛れもなく湘南の至宝だ。

「何を表現し、どう伝えるのか」各カラーがぶれることなく追究し、各パートが協力して素晴らしいものが結実したということだ。これは、将来、生徒の皆さんが世界を変えていくための力になる。

3年生の受験は、理念・目標を掲げ、それに向かってぶれずに努力していく という意味で体育祭と同じであり、体育祭に向けたエネルギーをそのまま勉強 にぶつけてほしい。志望する大学への進学は、きっと叶う。

1年生、2年生はこの3年生の勇姿を見て、最も困難な道に挑戦してほしい。皆さんの今後の活躍を心より楽しみにしている。

高校生のうちにオリジナルミュージカルを上演したい

湘南高校、藤嶺学園、鎌倉高校などの生徒 10 人がオリジナルミュージカルを 上演しようと立ち上げた「高校生ミュージカルAqua」について、タウンニュース藤沢版 8 月 18 日号に掲載された。

「高校生のうちにオリジナルミュージカルを上演したい」。創設のきっかけは小泉梨乃さん(湘南高校2年)の思い。学校内に部活がなく、外部で習うにも費用がかかり制作するのは難しい。そこで「無いなら作ろう」と一人で立ち上げSNSで発信した。(中略)企画書作りや練習場所の予約など、全てを分担してメンバーが行っている。活動資金が課題となっていたが、市内の文化芸術振興を目指す学生団体「SASP」からアドバイスを受け、藤沢市ミライカナエル活動サポート事業に申請。7月に採択された。今後は9月中に60分程度のオリジナル脚本を完成させ、10月からミュージカルの稽古を開始する予定。

2024年3月30日(土)に予定している新堀ライブ館学友ホール(200席)での初公演では「等身大の悩みを昇華して、自分らしさを大切にできる作品を作り上げたい」という。

2010年度、当時の諏訪康貴部長(87回)を中心に本校ジャグリング部が高校生の高校生による高校生のためのジャグリング大会を創設したことを校長室だより第20号で紹介したところだが、夢の舞台を自分たちの手で作り上げようとしている「高校生ミュージカルAqua」の皆さんの実行力に敬意を表したい。

自分の思いを放置せず、実現に向けて自ら動いてみることは、共感の輪を広げ、 未来を切り拓く力につながるに違いない。

知る方法を会得し、会得する方法を知り、直ちに調査する

本校第5代校長香川幹一氏は地理の教諭、地理学者としても活躍した人物である。香川氏の地理の教授法を研究対象とした論文がある。

香川幹一 1932 (昭和 7) 年の『尋五読図・描図・作図の地理教育』では、描図・作図学習の本質機能が地誌教育と関連づけて、次のように明確に論じられるようになった。「地表に起る諸現象を論ずる地理に於ては一刻と難も地圖を離れて思考し、考察する事は少くとも正しい地理教授ではない。(中略) この意味に於て地理教授でなくて地圖教授でありたいと思ふ。(中略) 地理の授業は児童をして視せて書かせて考へさせて比較させて證明させて答へさせなければならない。(中略) 手を使ひ或る場合には足まで動かして労作をさせなければならない。(中略) 知る方法を會得し、會得する方法を知り、直ちに調査するやうな児童を作り上げれば地理教授は萬點である。」

(「香川幹一における地誌教授法の形成過程」 齋藤之誉 2005 年 12 月)

- ○地表に起る諸現象を論ずる地理において地図を離れてはならないという意味において地理教授でなくて地図教授でありたい。
- ○児童に見せて書かせて考えさせて比較させて答えさせる。
- ○手を使い、足まで動かして研究させる。
- ○知る方法を会得し、会得する方法を知り、直ちに調査する児童を育てる。
- これは、地理に限らずあらゆる分野に応用できる姿勢ではないか。

自らの学力が高まる速度を最大化するように活動を選び取ることが「知る方法を会得し、会得する方法を知り、直ちに調査する」ことになる。

最も困難な道を徹底して歩んだ先人に敬意を表したい。